

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
1	1 人権・共生のまちづくり	外国籍の市民の傾向（家族構成、住居（賃貸・社宅など）、お仕事）を、可能な範囲で教えてください。お仕事されている方以外のご家族への支援が重要と思われ、要サポートの内容や質とのマッチング状況が知りたいです。	<p>三田市における令和7年3月末現在の外国人人口は1,574人と増加傾向にあります。就労状況を把握する目安となる在留資格別の外国人人口は、就労を目的とした在留資格の割合が42.2%となっており、（参考：令和5年28.1%、令和6年34.8%）これに伴い家族滞在の在留資格も増加しています。</p> <p>ご質問の外国人市民の家族構成や住居の情報などは把握できておりませんが、転入時には外国人市民の相談窓口を記したチラシを多言語化して提供しています。また、生活支援として「ゴミの出し方」やそのほか行政手続きに係る情報の多言語版の提供や、市広報誌から有益な情報と思われるものをピックアップした多言語版「ニュースレター」を自宅に郵送しています。</p> <p>そのほか、外国人市民の一元的相談窓口である国際交流プラザでの相談は、日々の生活から、日本語学習のことなど多岐に渡っておりますので、個別のニーズに応じた支援につなげております。</p>
2	2 地域で支えるまちづくり	改めて、自治会とまちづくり協議会の違いと、支援の内容の違いを教えてください。また、まちづくり活動、協議会設立支援、地域計画策定支援がありますが、活動と設立支援の状況を教えてください。おおよそまち協ができていると認識していますが、そこから活動や支援がどう変化しているのか知りたいです。	<p>自治会は、地域住民で組織された自治団体ですが、「まちづくり協議会」は、協働のまちづくりを推進するため、行政の新たな協働のパートナーとして、地域住民の総意に基づき、地域が自主的、自律的に活動するために設立された組織です。</p> <p>まちづくり協議会は概ね小学校区ごとに設立され、ふるさと地域交付金（上限額200万円）を活用いただきながら、防犯、防災、健康福祉、多世代交流やコミュニティカフェの運営など、各地域の特色を生かしながら、課題解決に向けた幅広い活動に取り組んでいます。</p> <p>支援については、自治会に対して、地域の課題等に対する相談対応や活動に必要な備品等の購入を補助する自治会活動振興費のほか、地域集会所の新築、修繕などについて補助を行っています。まちづくり協議会に対しては、地域担当職員が地域の課題やニーズを把握しながら、解決に向けた様々な協力や情報提供を行っており、活動に対しふるさと地域交付金を交付しています。</p> <p>まちづくり協議会設立にあたっては、地域担当職員が関わりをもって支援しており、現在20小学校区中19小学校区で協議会が設立されています。残りの1地区についても設立に向けて準備が進められており、引き続き、まちづくり協議会の自主的、自律的な活動を支援してまいります。</p> <p>現在5地区で地域計画を策定しており、新たに策定を検討する地域についても、地域担当職員や地域づくりの専門家を派遣するなどの支援を行ってまいります。</p>
3	3 健康づくり	取り組みは行っているものの、それが成果（指標）につながっていないように見えます。指標と施策のズレがあるのか、なにか問題があるのか教えてください。	<p>保健施策の取り組みがアウトカムの指標である「健康寿命の延伸」等の動向に反映されるまではタイムラグがあるため、施策の実施と成果が直ちに結びつかない状況となっています。アウトカムの前提となる、健康管理や生活習慣等の改善に向けた従来からの施策は、健康づくりに無関心な人、関心があっても利用できない人に届いていないということが、主な要因にあると考えており、各指標の目標達成に向けて、引き続き様々な施策を推進してまいります。</p> <p>現時点の指標はこれまでの施策や各計画に基づいて定めており、今後、全体の整合性を確保しつつ、関係部署と協議しながら、評価指標の見直しや改善を図ってまいります。</p>

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
4	4 乳幼児期の育ち	保育士・幼稚園教諭の離職率減少に向けた取り組みを教えてください。	<p>■保育士支援として、特別な支援を要する子どもとの関わり方について臨床心理士が助言・指導する「課題サポート事業」や資質向上のための「キャリアアップ研修」、保育・保護者対応等にかかる「保育相談マネジメント相談事業」を行っています。保育士の課題解決に対する取り組みを支援することで良好な保育従事者の環境を整えています。</p> <p>■就職フェアにおいて、保育士業務に関するセミナーや個別説明を行い、就業前後のギャップ解消に努めています。</p> <p>経済的支援の取り組みとして、国制度の処遇改善による報酬増を適切に運用しています。</p> <p>■その他、市立保育所や市立幼稚園（認定こども園）において、職員全員が働きやすく風通しの良い職場づくりを目的とした働き方改革の取り組みや、職員一人ひとりへの面談・聞き取りなどを実施しています。</p>
5	5 地域ぐるみの子育て	子育て世帯の移住・定住につながる成果をあげていると思います。これらの取り組みや成果を市内外にどのように広報しているか教えてください。	<p>子ども・若者がこのまちに住み、生涯にわたって住み続けることに「希望」を持てるまち、たとえ一度このまちを離れてもまた戻ってきたくなるまち（志向する4つの姿）を目指し、「こどもを核としたまちづくり」を市の施策全体の共通テーマとして取り組みを進めていることを、あらゆる機会や媒体を通じ市内外に発信し、魅力を伝えることを努めています。</p> <p><志向する姿></p> <p>①「このまちで子どもを産み、育てることができて良かったと思えるまち」</p> <p>②「子どもが、大人になってもこのまちなら学びや交流などを通じて成長できると思えるまち」</p> <p>③「子どもが、どんな状況にあっても、このまちなら生涯にわたって自分らしく生き生きと暮らすことができると思えるまち」</p> <p>④「子どもにとって、安全かつ安心して生活できるインフラ、家庭・地域・教育・自然環境が整っているまち」</p> <p>■No. 5における取り組み</p> <p>こうみん未来塾は、地域や学校と連携した多彩なプログラムを展開しており、市広報誌やHP等で継続的に発信しています。先進事例として他市から問合せがあるほか、新聞やテレビで度々取り上げられており、教育に力を入れるまちの魅力として市内外にPRしています。</p>
6	6 学校教育の充実	ICT機器の活用で苦戦されているように思います。外部人材の登用など、工夫していたことがあれば教えてください。指標4について、小6は増加しているものの、中3は横ばいです。小中のキャリア教育の違いと工夫を教えてください。	<p>【ICT】</p> <p>児童生徒が1人1台端末で使用している総合学習アプリ等の教員向け研修会をアプリ作成会社員や指導主事により複数回実施（R6に8回）、ICT運営支援センターのICT支援員の派遣による児童生徒への操作支援、授業支援を随時実施（R6に132回）しています。</p> <p>【指標4】</p> <p>発達段階に応じて書く内容は変わるが、小学校では自分の成長を振り返るのに役立て、中学校では目標を立てるの役立て、自分の将来の生き方等を考えるきっかけとしています。兵庫県版キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実を図っています。特に小中高12年間をつなぐキャリア教育として、小学校で書いたキャリアパスポートを中学校、高校へと引き継ぎます。</p>

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
7	6 学校教育の充実	不登校気味の児童へのサポートとは具体的にどのようなものか教えてください。	各学校では不登校の未然防止に向け、教室の居づらさを感じた児童生徒が安心して過ごすことのできる校内サポートルームを設置、運営しています。サポートルームでは個々のペースで落ち着いて学習したり、安心して相談できるように環境づくりに配慮したり、子どものサポーターを配置し、子どもの学習面、心理面の支援を行っています。その他、学校では欠席が続くとすぐにケース会議を開催し、児童生徒の実情に応じた支援について協議し、支援を行っています。
8	6 学校教育の充実	各施策を考える時に、どのようなことを意識しているのか教えてください。	施策を検討するにあたっては三田市の教育にとっての必要性、課題解決のための効果、優先度（緊急性）等から総合的に検討し、そのうえで最も効果的な手法、財源を調整しています。なお、財源については、国県の補助金を最大限活用することで市の財政負担の軽減を図っています。
9	7 若者が集うまち	住み替えの傾向を教えてください。新規開発に偏るのか、既成市街地やNTの空き家に入居するのか。三田市のような特殊な発展をとげた自治体では、また新規開発に新規居住者を誘導するのではなく、居住の平準化を図る必要があります。	住み替えの傾向については、子育て世帯・若年世帯を対象とした住み替え支援補助事業の令和6年度実績に基づく、全体で90件の申請のうち、実績の大部分は中古住宅への住み替えが占めています。住宅タイプ別では戸建てへの住み替えが64.5%、マンションへの住み替えが35.5%、地域別では、ニュータウンへの住み替えが95.5%、調整区域への住み替えが4%という結果となっています。今後、大きな新規開発が見込めない本市において、空き家対策等の住宅流通を促す取り組みが重要であると考えます。
10	8 いつまでも学び、活躍できるまちづくり	図書館の来館者数が減少している理由を教えてください。「予約本の受渡、返却などの新たな取り組みを行い」とありますが、従来のサービスのようには思いません。減少理由を解決する取り組み、または新たな需要を生み出す取り組みを教えてください。	図書館の来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に大幅に減少したものの、それ以降は毎年増加し回復傾向にあります。令和6年度から新たな取組として、これまで予約本の受取、返却は図書館でのみ行っていたものを、市民センターや郵便局での取り扱いを開始しました。身近な場所に窓口ができたことで図書館を利用しやすくなったというお声をいただいておりますので、引き続き身近で利用しやすい図書館を目指し取り組んでまいります。
11	10 生活の安全安心・非常時への備え	刑法犯罪が増加傾向にある理由を教えてください。消費生活に関する講座は、対面開催でしょうか。高齢者、障害者、若年者全てにおいて、Webの方が受講者が増える可能性があると思われそうですが、なか考えていらっしゃいますでしょうか。	本システムは、要援護者（市が定める一定以上の障害者手帳等級や要介護認定を受けている方）の情報、罹災証明や税の減免等の申請状況、生活再建支援に関わる情報等を一元管理できるシステムです。研修には、福祉・保険・介護の他、財政、税務、教育支援等に関わる職員も参加しております。
12	10 生活の安全安心・非常時への備え	被災者支援システムは、福祉や介護などの情報も含めて管理できるようになっているのでしょうか。研修には、福祉・保険・介護等に関わる職員も参加しているのでしょうか。	被害者対策としては、市広報誌やホームページによる予防・啓発を行っています。また消費生活センターに相談があれば情報提供を行い、必要に応じて警察へ連絡するなど対策を行っています。加害者対策としては、身に覚えのない電話には「無視して電話を切る」等の対策をしています。また詐欺行為を疑った場合は警察と連携を取るなど対応を行っています。

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
13	10 生活の安全安心・非常時への備え	特殊詐欺について、被害者側、加害者側、双方に対してどのような対策をとっているか教えてください。	被害者対策としては、市広報誌やホームページによる予防・啓発を行っています。また消費生活センターに相談があれば情報提供を行い、必要に応じて警察へ連絡するなど対策を行っています。 加害者対策としては、身に覚えのない電話には「無視して電話を切る」等の対策をしております。また詐欺行為を疑った場合は警察と連携を取るなど対応を行っています。
14	11 子ども・子育ての安心	母子世帯が養育費を受け取るための介入は、行政はどれだけできるのか教えてください。	養育費に関する夫婦間の問題に対し、市行政が法的に直接介入する手段はありませんが、次のような支援を通じて、間接的にサポートをしています。 ① 離婚前後において、養育費の取決め方法や請求方法に関するアドバイスを行っている。 ② 養育費の取り決めに法的な効力を与えるため、公正証書の作成を推奨し、作成にかかる費用の補助を行っている。 ③ ひとり親家庭が民間の保証会社と養育費保証契約を結んだ場合、初回の保証料を補助している。 ④ 必要に応じて兵庫県が実施する弁護士相談に付き添い、ひとり親世帯がより法律的な助言を受けられるように支援している。 なお、他市が導入している「市が養育費の不払い分を立替え、元配偶者に対して督促を行う」支援制度については、回収方法などに懸念点が多く、現状では実施は困難と考えています。
15	13 障害のある人の安心	障害者の総合相談は、全て市が受けているのでしょうか。障害者同士、介護者同士が悩みや相談を共有（交流）する取り組みや、「きいてネット」の結果を共有することなどがあれば教えてください。	障害者の相談は、市障害福祉課、相談支援専門員やピアカウンセラーによる相談業務を実施する障害者総合相談窓口「きいてネット」のほか、障害分野（身体・知的・精神）別に障害者やその家族を相談員として委嘱し、相談を受け付ける「相談員制度」を設けています。 また、障害者やその家族等が悩み等の共有や交流ができる場として、「ピアサロン」や「シャベリバ」等を「きいてネット」が定期的で開催しています。更に障害者やその家族で構成される団体に市から補助金を交付し活動の支援を行っています。 「きいてネット」の取組に関しては、障害者やその家族、福祉関係者、学識経験者等を委員として構成する「三田市地域自立支援協議会」の代表者会において報告し、委員の皆様にご意見を伺っていただいております。また、同会の会議録等については、市ホームページに掲載し、広く市民に周知しています。
16	13 障害のある人の安心	成果指標5「障害のある人への対応や理解」はどのようなデータを用いていますか。	第6次三田市障害者福祉基本計画（計画期間：令和6～11年度）の策定にあたり、令和4年度に実施した障害者等アンケート調査の調査項目「三田市では障害のある人への対応や理解が足りていると思うか」という質問に対する障害者（18歳以上）からの回答のうち、「足りていると思う」、「少し足りないと思う」の合計値（37.5%）を用いています。 ※参考：（回答数/配布数：1,001件/1,686件） （回答の内訳） ① 足りていると思う：11.2% ② 少し足りていないと思う：26.3% ③ 全然足りていないと思う：13.5% ④ わからない：41.7% ⑤ 無回答：7.4%

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
17	15 商工業の振興	成果指標の数値が更新されていないので、可能な範囲で状況を教えてください。	5年ごとに実施される国の統計調査（経済センサス）の数値を使用しており、記載しているデータは令和3年6月時点のものです。次回の調査は令和8年度に予定されています。国が経済センサス統計調査の中間年に実施している経済構造実態調査において、都道府県の令和3年度と令和5年度の商品の販売額を比較すると、約10～20%程度の増加が見られます。
18	16 農業の振興	ほぼ全ての指標が減少傾向にあるように見えます。これらの改善のために、地域計画の策定がどう機能するか教えてください。農福連携に向けて、新たな取り組み（農業施設の導入、支援団体の設立など）があれば具体的に教えてください。	地域計画は持続可能な農業の展開を目的に、地域ごとの10年後の農地利用を示した計画です。この策定により地域の現状が“見える化”され、地域と課題を共有することができました。 今後は地域計画の実現に向けて、担い手不足の解消、獣害被害の低減、農業所得の安定化など課題の解消に向けて地域、農業者の取り組みを支援してまいります。それらが順調に進むことにより、それぞれの指標が好転するものと考えます。 市が農業者と福祉施設との間に立ち、マッチングを行った。(R5～) また、マッチングが円滑に進むよう国が認定する農福連携技術支援者の資格を取得した。
19	17 観光・交流・文化の振興	観光の消費単価が上がっているように見えますが、その理由（内訳）を教えてください。また、観光産業に新規起業者がどれだけ関わっているか教えてください。	観光消費単価は物価変動の影響を受けるため、特にGotoトラベルなどの宿泊割引がなくなったことや物価高の影響により消費単価が上がったと思われます。 観光入込客数の対象地点は前年度と特に変更はありません。観光産業に新規起業者がどれだけ関わっているかは把握できておりません。
20	17 観光・交流・文化の振興	さんだまち博について、どのような媒体を用いて広報を実施されているか教えてください。	〔主な告知媒体〕 ・パンフレット17,000部配布（市内公共施設、市内小学生全児童、大阪市・神戸市・阪神間公共施設、県内道の駅、県内観光協会等） ・ポスター100部設置（市内広報掲示板、交通事業者、市内外公共施設等） ・市広報紙9月 ・市HP ・まち博専用HP ・市インスタグラム ・インフルエンザーをの活用 ・プログラム主催者からのPR
21	17 観光・交流・文化の振興	さんだまち博の企画には、若者や大学生、高校生の意見をどのように取り込んだか教えてください。	高校生は探求学習の市の課題テーマの一つにあげておりましたが、令和6年度はテーマを選択した学生はおられませんでした。大学生はプログラム主催者として参画いただいているので、主催者アンケートや反省会の中でご意見を聞き、専門のアドバイザーの助言も踏まえて、次年度の企画に反映させています。

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
22	18 まちの再生	フラワータウンセンターの必要機能の現時点での設定（想定）と、周辺の田園地域との関連を教えてください。	<p>フラワータウンの課題は高齢化率が高くなっていることであり、再生に向けては若年層の誘致が重要だと考えています。一方、誘致の受け皿となる住宅ストックは流通量が少なく、人口の自然減による住宅ストックの増加までは5～10年かかる見込みです。</p> <p>人口減少下でもまちの賑わいを保つには、活動量の増加が必要であり、そのためには新たにまちづくり活動へ参加する人を増やし、交流を促進する核となる拠点機能がセンター地区に必要な機能の1つであると考えています。</p> <p>令和6年度の下半期より、神戸電鉄フラワータウン駅前の県企業庁所有地（エキマエアキチ）にて、社会実験を通じてその効果や課題等を検証中です。</p> <p>実施しているコンテンツの中には、生産者による野菜の直売を行う朝市の開催もあり、田園地域と隣接した本市ならではの魅力の再発見や、都市と農村の連携促進につながるものと考えています。</p>
23	18 まちの再生	市街地再開発事業がR2から3.1haでとまっていますが、どのような状況か教えてください。	<p>本市の市街地再開発事業は三田駅前を4ブロックに分割し順次実施しており、成果指標欄の基準値の3.1haは、これまで事業完了したA・B・Dブロックの各区域面積の合計です。</p> <p>令和3年度から最終ブロックであるCブロック（区域面積1.9ha）に着手しており、当該ブロックが事業完了すると目標値の5.0haとなります。</p> <p>しかし、現時点での事業完了予定は令和10年度であることから令和8年度での目標達成は困難な状況です。</p>
24	18 まちの再生	町家等修景助成の対象となりうる町家は何軒程度あるのか教えてください。	令和4年3月調査時点で75件です。
25	18 まちの再生	ニュータウン再生推進のための取組について、新たな主体によってスタートした活動やつつじヶ丘の取り組みについて、もうすこし詳しく教えてください。	<p>フラワータウンでは、神戸電鉄フラワータウン駅前の県企業庁所有地（エキマエアキチ）において、住民の有志により、子供の放課後の探求学習の場の運営や、不登校支援、喫茶店＋心理学を活用した悩み相談、民設民営の図書館などの活動がスタートしたところです。</p> <p>つつじヶ丘では、地域住民代表との勉強会・意見交換を開始し、まちの課題である買い物環境や医療環境の改善、さらには若年層誘致に向けたお試し居住の実施に向けた協議を重ね、市・地域・事業者が協力して令和7年度から実施することとなりました。</p>
26	19 良好な住まい	施策全般を通じて、不動産価値が向上またはキープされた実感や声はありますか。	個別にそういった声を聞く機会がなく、また個人ごとに感じ方が異なるため回答は難しいですが、近年、本市人口の社会減が減少傾向に転じており、様々な要素が考えられますが、当該施策も直接または間接的に影響を与えているものと考えています。

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
27	20 交通ネットワーク	次世代モビの利用者18人/日は、利用者にとっては役立つものですが数は少なく、経営面からは持続可能には思えません。また、多様な利用者がいるようにも思えません（高齢者中心?）。今後、どのような利用者を想定して運行し、利用者数を増やすのか考えを教えてください。	<p>高齢化が進展する環境下においても域内移動の流動性維持及び利便施設への移動手段確保を目的に、徒歩や自転車等に代わる新たな移動手段としてグリーンスローモビリティの実証実験を行っています。</p> <p>令和6年度は初の有償化による実証実験でしたが、車両定員6人に対し3人/便と、前年度と変わらない利用が見られたこと、また70歳以上の利用で7割近くを占め、「買い物」目的の利用が多いことから、安定して日常利用のニーズに応えられていると考えています。</p> <p>一般的に地域内交通は、収支均衡が困難とされており、本事業においても行政の支援だけでなく、持続可能な地域の移動手段となるよう、多様な利用者層の確保に向けた利用啓発のみならず、利用者のロコミによる認知拡大や、徒歩移動等が困難な方の需要に応じた運行等により利用者の獲得に努める他、団体からの支援（協賛等）獲得を進めてまいります。</p>
28	20 交通ネットワーク	バスの減便について、人材不足や物価高騰等の理由はわかりますが、市の考えを教えてください。	<p>市では、三田市地域公共交通計画を令和6年度に策定し、「誰もが気軽に移動できるまち」を目指し、人の流れや量に応じ、交通事業者、地域、行政が適切な役割分担のもと、公民共創による持続可能な公共交通ネットワークの形成に取組みを推進しています。</p> <p>バス等の大量輸送機関の維持には財政的な支援をする他、令和6年度から担い手確保に交通分野以外の団体が参画する「担い手共創プロジェクト」を構築し人材不足に対応する取組みを進めております。また、小さな需要には、地域と共創による地域内交通の導入を推進してまいります。</p>
29	21 水の保全	下水管の老朽化調査実施率は100%に達していますが、老朽化の状況をわかる範囲で教えてください。また、老朽化が確認された場所についてどのような対処がなされているか教えてください。	<p>R2～R4年度にコンクリート系の下水管をカメラによる詳細調査を実施した結果(調査延長229km、マンホール6,750箇所)、管路L=58m、マンホール6か所、マンホール蓋337箇所の腐食破損が確認されました。</p> <p>これらの箇所についてはR5年度より順次修繕、取り換えを実施しています。</p>
30	22 里山・自然の保全	道路インフラ事業において、「山並みと調和し一体的な景観を形成する街路樹の適正管理」をするためには、例えば里山やため池、眺望の景観を活かすために街路樹を取り除くことも視野に入ります。また、膨大な低木刈り込みを変更することも考えられます。適正な間隔にすること以外に、抜本的な適正化は検討されていますでしょうか。	<p>街路樹の適正管理については、行動計画であるグリーン・マネジメントさんだ2.0（緑量の管理）に基づき、中央分離帯低木除去についても令和6年度から着手しています。</p>

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
31	23 持続可能な環境づくり	<p>田園地域や山間部での太陽光パネルの設置状況と、安全安心や景観保全との両立方策を教えてください。</p> <p>指標1が増加傾向である理由や内訳、対策を教えてください。新ごみ処理施設の負荷軽減に対しても、重要な観点かと思えます。</p>	<p>【太陽光パネル】 市内の田園地域や山間部には、発電事業者により約150箇所、太陽光発電設備が設置されていると把握しています。設置する際には、市が「三田市里山と共生するまちづくり条例」等に基づき、無秩序な設置を防ぎ、安全安心な市民生活や里山の景観を守るため、地盤の安定性や設備の耐久性、一定の割合の森林面積を事業区域内に保全する等の基準などに沿って、適正な審査および指導等を行うことにより、一定の規制をかけています。</p> <p>【温室効果ガス排出量】 温室効果ガス排出量は、産業部門の増加が主な要因となっており、新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開の影響により製造業の生産量が増加したことが主な理由として考えられます。 今年度企業を巻き込んだ市民を対象にしたイベントの開催など、市民をはじめ企業の意識を高めながら脱炭素化の取り組みを進めてまいります。 なお、新ごみ処理施設で生み出される再生可能エネルギーも温室効果ガス削減に大きく寄与することから活用に向け検討を進めています。</p>
32	24 協働・共創のまちづくり	<p>タウンミーティングや市長への手紙の内容を、市が受け取るに留まらず、市民と共有する仕組みはありますか。また、SNSの登録件数が増加傾向にあるものの、成果指標としては伸び悩んでいるように見えますので、対策を教えてください。</p>	<p>市民と共有する仕組みについて、タウンミーティングの議事録及び団体からの市長への手紙の概要は、ホームページで公開しています。個人からの市長への手紙については、そのほとんどが個人の状況や、それに対する主観に基づくものであることから公表していませんが、全市的に周知が必要と思われるものは公表する仕組みとしています。</p> <p>登録件数については、全戸配布する広報誌による周知に加え、商工会、観光協会、大学等の団体を通じた周知活動を行うとともに、さんだまつり等各種イベントにおいてLINEと連動した企画を実施するなどにより登録件数の増加に取り組んでいます。</p> <p>また、高齢者向けスマホ教室でLINE登録の実践や、チラシの配布も行っており、今後はこれら登録機会となるコンテンツを増やすことで、引き続き取り組んでいきます。なお、目標値は世帯数に基づいて設定しており、災害情報を広く市民に届けるため、世帯につき1名以上の登録者がいることを理想とした高い基準にしました。世帯数に対する登録者数の割合としては、阪神間7市の中で2番目に高い値となっています。</p>

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
33	25 行政経営	職員のチャレンジする意欲を喚起するための制度や仕組みがあれば教えてください。また、タウンミーティングや市長への手紙への対応から、職員発案で実現した施策があれば教えてください。	<p>職員のチャレンジ意欲を喚起する仕組みとして、「①人事評価制度」「②職員提案制度」「③10%ルール」があります。①人事評価制度では、各自設定したチャレンジ性の高い目標への評価点について、通常目標よりも加点される制度とし、評価結果に応じた昇給号数を決定する仕組みにしています。</p> <p>次に、②職員提案制度は、市の事務事業における課題提起とその例示としての解決策を職員が提案し、これを市政に反映する仕組みとなっています。</p> <p>また、今年度から職員が勤務時間のうち10%を、自主的な改善業務や新規事業の検討に充てることができる「③10%ルール」制度を創設しました。この制度は、創意ある取り組みを推進し、組織全体の活性化を図る土台となっており、職員提案制度などにも活用が可能となっています。</p> <p>さらに、業務内外で模範的な活動を行う職員を表彰し、その功績を讃える「職員表彰制度」により、職員の自律的な向上意欲を促進し、職場の士気や信頼関係を高めています。これらの制度を通じて「職員のチャレンジ」を支援し、組織力の向上を目指しています。</p>
34	7-1 地域活躍人材育成プログラム「三田スモカモス・プロジェクト」	事業概要【取組】③が、事業後半では重要になると思われます。体験に留まらず、本市で果たしたい役割を見つけ、活躍に至った事例を教えてください。内容は素晴らしいと思いますが、数値ふくめ事業の広がりを目指す方策があれば教えてください。	<p>伴走支援の事例として、スモカモス・プロジェクトでは毎回3～5人の卒業生（現役学生含む）が参加し、受講生の相談対応やワークショップのサポートなどを行っています。東京などの都市部で働く卒業生も、休日に開催する発表会等への参加や企画・運営への協力を通じて、継続的にプロジェクトに関わっています。</p> <p>令和6年度には、「伴走支援コーディネーター育成プログラム」を新たにスタートしました。このプログラムは、スモカモス卒業生を中心に、市民活動団体のメンバー、行政職員、教員なども対象とし、市民活動や探究学習等にチャレンジする人々を支援する人材を育成をめざしています。</p> <p>こうした取り組みにより、スモカモスプロジェクトの安定的な運営体制を確立し、活動の場を広げるとともに、若者の活躍機会の底上げと地域における人的ネットワークの構築を図り、地域全体の活性化に寄与していきます。</p>
35	17-1 三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業	観光客増加による道路の安全確保の課題について、どうなっていますか。	千丈寺湖畔再生プロジェクトの関連イベントを実施する際には、道路の安全に支障が生じないようにイベント規模や駐車場の確保など十分に配慮して、事業計画を立てております。イベント概要については、事前に地域にも相談・情報提供を行っています。
36	17-1 三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業	さんだまち博の今後の方向性について教えてください。	将来的には、さんだまち博のそれぞれのプログラムが持続可能な観光プログラムとして成長し、「さんだのまちを遊ぶ」が日常になり、年中あちこちで体験型交流プログラムが実施されるまちすることを目指しています。千丈寺湖畔再生プロジェクトの体験プログラムもまち博に盛り込みながら、一体的に事業展開を図っていきたいと考えています。

施策番号	取組番号・取組名（施策名）	事前質問	所管部署からの回答
37 17-1	三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業	<p>成果指標の「農村地域において市内に住みたい」方が減少傾向にあります。これは既存住民の継続居住意向に限ったものでしょうか。新規居住意向がわかれば教えてください。いずれにせよ、仕事とつながらないと農村地域に住みたい方は増えにくいと思われます。</p> <p>R7事業費合計が大幅に増加していますが、R6の成果をふまえて内容を教えてください。</p>	<p>市民意識調査では、居住年数等の設問を設定しておらず数値で示すことはできませんが、データの中には既存住民と移住者が混在しています。居住意向を地区別で見ると、高平地区はフラワータウン・ウッドィタウンに次いで3番目に「住みたい」人の割合が高く、農村地域の中でも比較して居住意向が高くなっています。これは、高平地区において、高平郷づくり協議会の取り組みとして移住対策の部会を立ち上げ、地域が主体的に移住者の受け入れに取り組んでいること、同時に、移住者が高平の良いところを発信するという好循環が生まれていることが功を奏していると考えられます。移住者の中には、テレワーク等で仕事を持ちながら農業に取り組まれる方もあり、多様な働き方・暮らし方ができる地域として定着率は高いと思われます。今後の移住・定住施策としては、高平モデルの横展開、移住者の声の発信、子どもたちの地域へのふるさと意識の醸成などが必要と考えています。</p> <p>R6に実施した千丈寺湖周遊モニターツアーは、定員の10倍を超えるような人気があり、県外にも広く千丈寺湖の魅力を発信することができ、千丈寺湖の認知度も向上してきています。また、モニターツアーをきっかけとして、事業者間の新たな連携や食と水上アクティビティを組み合わせた新たな体験プログラムもできてきています。</p> <p>・R7は、大阪・関西万博が開催されることもふまえ、多様な主体と連携した様々な賑わい事業や千丈寺湖魅力発信事業に取り組むため、事業費を増額しています。</p>
38 18-1	三田市フラワータウンまちづくりプレイヤー発掘育成支援事業	<p>事業が一旦中断となる理由を、施策18や20など施策との関連含めて教えてください。</p> <p>「課題」に書かれていることは、本事業のような施策には大きな問題と思われます。「次年度への対策対応」に書かれているように、取り組みは継続するならば、改善方策を教えてください。</p>	<p>プログラム参加者数の想定以上の増加という成果があった一方、参加者が継続的にまちづくりに携わるための伴走型支援にかかるマンパワーやノウハウ、事業者等との連携などの体制が追いついておらず、事業の継続がかえって参加者に混乱を与える可能性があるため、一旦プログラムを通じたまちづくりプレイヤーの発掘事業を中止する見直しを行いました。</p> <p>令和7年度は、神戸電鉄フラワータウン駅前の県企業庁所有地（エキマエアキチ）での社会実験を通じ、これまでに発掘したプレイヤーの育成や、体制整備に向けた検討・協力者との連携に取り組み、各施策の推進に重要な、様々な関係者のまちづくりへの参画を促進します。</p>